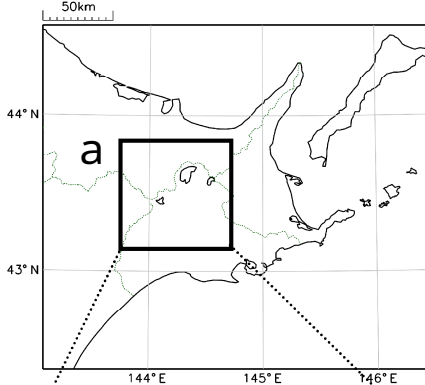


6月4日 網走地方の地震

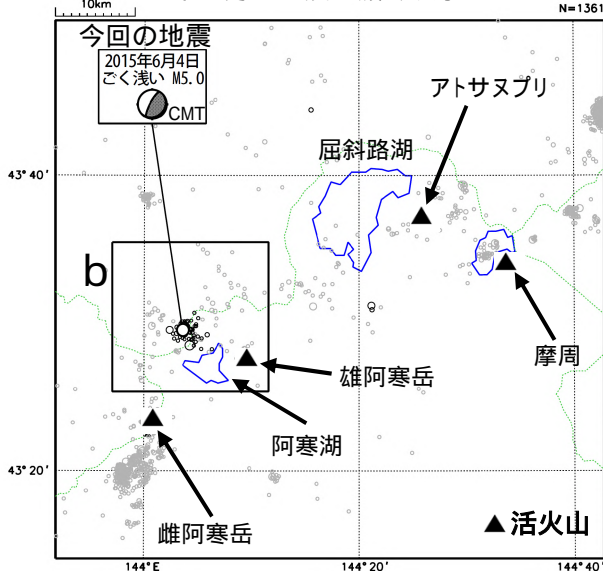
この地震の情報発表に用いた震央地名は〔釧路地方中南部〕である。

北海道東部の地図



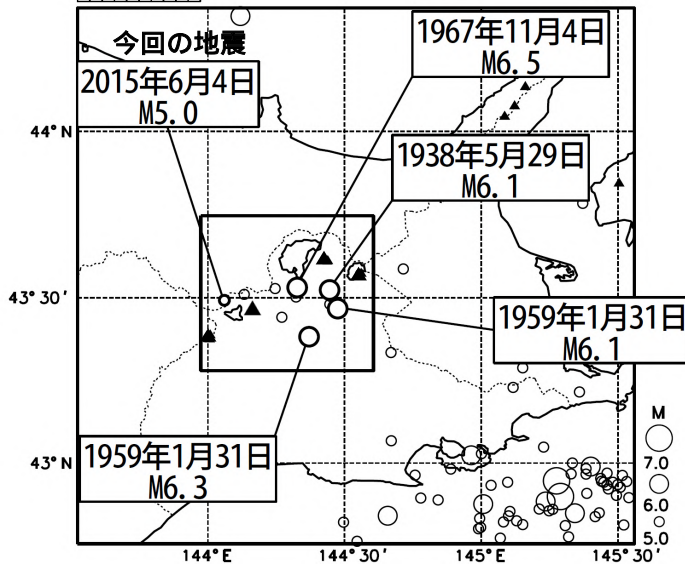
震央分布図

(2001年10月1日～2015年6月7日、
深さ0～30km、M 1.0)
2015年6月の地震を濃く表示



領域 a 内の震央分布図

(1923年1月1日～2015年6月7日、
深さ0～60km、M 5.0)



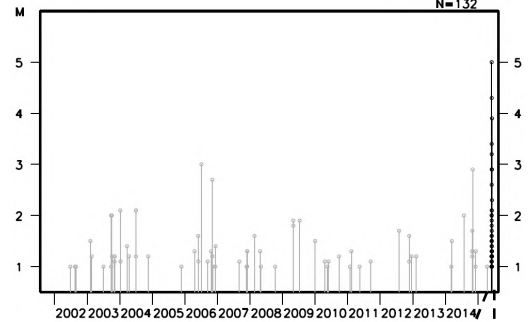
2015年6月4日04時34分に網走地方のごく浅い場所でM5.0の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震の後、震度1以上を観測した余震が9回（震度3：2回、震度2：3回、震度1：4回）発生している（7日24時現在）。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の震央付近（領域b）では、M4.0以上の地震は初めてである。

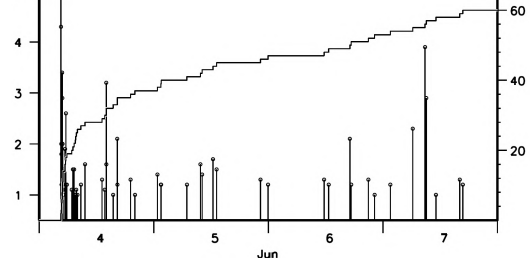
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM5.0以上の地震がしばしば発生していたが、1968年以降はM5.0以上の地震は発生していなかった。1938年5月29日に発生したM6.1の地震（最大震度5：区内観測所による）では、死者1人、家屋倒壊5棟、半潰2棟、破損36棟などの被害が生じた。なお、この地震により屈斜路湖では小津波と思われる高さ90cmの水位変化があった（被害と水位変化は「日本被害地震総覧」による）。

* 6月7日の地震の震源要素（緯度、経度、深さ及びマグニチュード）、震度等は速報値であり、地震の震源要素等は、再調査のあとと修正することがある。

領域 b 内の M - T 図



(6月4日～7日の M - T 図及び回数積算図)



領域 a 内の M - T 図

